

ジャパンパック

機能性段ボール容器 自動量産設備を導入

ジャパンパック（滑川市北野、長田宏泰社長）は、機能性段ボール容器の製造をほぼ自動化する新型の量産設備を、本社工場の隣接地にある建屋に導入した。八月から稼働させ、既存の半自動機と合わせて生産能力を約五倍の月三十万個に引き上げる。

同社は、段ボールに各種加工を施した機能性容器の開発、製造を手掛ける。

段ボールの内部に防水フィルムを張った液体輸送用の「Nパック」や切り花輸送用の「Nフラワー」、断熱材を巻きつけた「Nクール」などを商品化している。今回の設備増強は、主にNパックの受注増に対応した。

新たに導入した設備は「自動袋張り製函機」。一連の製造工程をライン化した特注機で、手作業で行っていた段ボールの供給やフィルムの張り合わせ、段ボールの折りたたみなどの工程が自動化され、生産性が大幅に高まる。

これまで倉庫として利用してきた建屋に導入。この建屋を第二工場と位置付け、設備の稼働後は既存の第一工場でのNフラワーなどの小ロット品を手掛け、第二工場はNパックの本格的な量産を主体とする。

生産能力や効率の向上は、受注増への対応に加え、価格競争力の強化にもつながるといふ。

機能性段ボール容器の製造をほぼ自動化する量産設備



ジャパンパック 機能性段ボール容器 自動量産設備を導入

ジャパンパック（滑川市北野、長田宏泰社長）は、機能性段ボール容器の製造をほぼ自動化する新型の量産設備を、本社工場の隣接地にある建屋に導入した。八月から稼働させ、既存の半自動機と合わせて生産能力を約五倍の月三十万個に引き上げる。

同社は、段ボールに各種加工を施した機能性容器の開発、製造を手掛ける。

段ボールの内部に防水フィルムを張った液体輸送用の「Nパック」や切り花輸送用の「Nフラワー」、断熱材を巻きつけた「Nクール」などを商品化している。今回の設備増強は、主にNパックの受注増に対応した。

新たに導入した設備は「自動袋張り製函機」。一連の製造工程をライン化した特注機で、手作業で行っていた段ボールの供給やフィルムの張り合わせ、段ボールの折りたたみなどの工程が自動化され、生産性が大幅に高まる。

これまで倉庫として利用してきた建屋に導入。

この建屋を第二工場と位置付け、設備の稼働後は既存の第一工場でのNフラワーなどの小ロット品を手掛け、第二工場はNパックの本格的な量産を主体とする。

生産能力や効率の向上は、受注増への対応に加え、価格競争力の強化にもつながるといふ。